

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公開番号】特開2008-181428(P2008-181428A)

【公開日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2007-15585(P2007-15585)

【国際特許分類】

G 06 F 12/00 (2006.01)

H 04 N 5/76 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/00 5 2 0 E

H 04 N 5/76 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月18日(2010.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置であり、

メディア格納コンテンツに対応するデータとして後発的に取得または生成した後発データを格納する記憶部と、

前記記憶部に対する後発データの記録に際して、後発データに関する管理情報を格納した管理テーブルを生成または更新して前記記憶部に記録する制御部を有し、

前記制御部は、

前記記憶部に記録される各後発データ各自について、後発データに対応するメディア識別情報またはメディア格納コンテンツ識別情報を前記管理テーブルに記録し、該管理テーブル記録情報に基づく記憶部管理メニューの表示処理を実行する構成であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記制御部は、

前記管理テーブルに、前記記憶部における各後発データに対するバス情報と、各後発データに対応するメディア格納コンテンツの識別情報を記録し、前記記憶部管理メニューとして、前記メディア格納コンテンツの識別情報を表示部に表示する処理を実行する構成であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記メディア格納コンテンツの識別情報には、後発データに対応するメディア格納コンテンツのタイトルまたは代表画サムネイルの少なくともいずれかを含むことを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記制御部は、

前記管理テーブルに、前記後発データに対応するメディア格納コンテンツに設定された組織識別子(Org-ID)、ディスク識別子(Disc-ID)の少なくともいずれかを記録する処理を実行することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記制御部は、

前記管理テーブルに登録された後発データの記憶容量情報を表示部に表示する処理を実行する構成であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記制御部は、

前記記憶部管理メニュー中に表示されたエントリに対するユーザによるエントリ指定情報および処理指定情報の入力に基づいて、指定されたエントリに対応する後発データに対して指定処理を実行する構成であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記指定処理は、後発データの削除処理、移動処理、バックアップ処理、再生処理のいずれかであり、制御部はユーザにより指定されたエントリに対応する後発データを指定処理情報に従って削除、または移動、またはバックアップ、または再生することを特徴とする請求項6に記載の情報処理装置。

【請求項8】

前記制御部は、

前記記憶部に記録する後発データに関する説明情報をある後発データ説明情報をメディアまたはサーバから取得して、記憶部に記録するとともに表示処理を実行する構成であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項9】

前記後発データ説明情報は、

後発データのタイトル、

後発データの取得または生成または記録日時、

後発データの取得価格、

上記情報の少なくともいずれかの情報を含むことを特徴とする請求項8に記載の情報処理装置。

【請求項10】

前記制御部は、

前記後発データ説明情報を、記憶部の後発データ格納データに対応するディレクトリ中の、各後発データに対応するメディア固有のディレクトリに設定して記録する構成であることを特徴とする請求項8に記載の情報処理装置。

【請求項11】

前記制御部は、

前記後発データ説明情報に含まれるデータの少なくとも一部を前記管理テーブルに記録し、前記管理テーブルから後発データ説明情報を取得して表示する処理を実行する構成であることを特徴とする請求項8に記載の情報処理装置。

【請求項12】

情報処理装置においてメディア格納コンテンツに対応するデータとして後発的に取得または生成した後発データに対応する処理を実行する情報処理方法であり、

制御部が、記憶部に対する後発データの記録に際して、後発データに対応するメディア識別情報を記録した管理テーブルの記録処理を実行するデータ記録ステップと、

前記制御部が、前記管理テーブル記録情報を基づく記憶部管理メニューの表示処理を実行するデータ表示ステップと、

を実行することを特徴とする情報処理方法。

【請求項13】

前記データ記録ステップは、

前記管理テーブルに、前記記憶部における各後発データに対するパス情報を、各後発データに対応するメディア格納コンテンツの識別情報を記録するステップであり、

前記データ表示ステップは、

前記記憶部管理メニューとして前記メディア格納コンテンツの識別情報を表示部に表示

する処理を実行するステップであることを特徴とする請求項 1 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 4】

前記メディア格納コンテンツの識別情報には、後発データに対応するメディア格納コンテンツのタイトルまたは代表画サムネイルの少なくともいずれかを含むことを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 5】

前記データ記録ステップは、

前記管理テーブルに、前記後発データに対応するメディア格納コンテンツに設定された組織識別子(O r g - I D)、ディスク識別子(D i s c - I D)の少なくともいずれかを記録する処理を実行するステップであることを特徴とする請求項 1 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 6】

前記データ表示ステップは、

前記管理テーブルに登録された後発データの記憶容量情報の表示処理を実行するステップを含むことを特徴とする請求項 1 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 7】

前記情報処理方法は、さらに、

前記制御部が、前記記憶部管理メニュー中に表示されたエントリに対するユーザによるエントリ指定情報および処理指定情報の入力に基づいて、指定されたエントリに対応する後発データに対して指定処理を実行するステップを有することを特徴とする請求項 1 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 8】

前記指定処理は、後発データの削除処理、移動処理、バックアップ処理、再生処理のいずれかであり、制御部はユーザにより指定されたエントリに対応する後発データを指定処理情報に従って削除、または移動、またはバックアップ、または再生することを特徴とする請求項 1 7 に記載の情報処理方法。

【請求項 1 9】

前記情報処理方法は、さらに、

前記制御部が、前記記憶部に記録する後発データに関する説明情報である後発データ説明情報をメディアまたはサーバから取得して、記憶部に記録するとともに表示処理を実行することを特徴とする請求項 1 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 2 0】

情報処理装置においてメディア格納コンテンツに対応するデータとして後発的に取得または生成した後発データに対応する処理を実行させるコンピュータ・プログラムであり、

制御部に、記憶部に対する後発データの記録に際して、後発データに対応するメディア識別情報またはメディア格納コンテンツ識別情報を記録した管理テーブルの記録処理を実行させるデータ記録ステップと、

前記制御部に、前記管理テーブル記録情報に基づく記憶部管理メニューの表示処理を実行させるデータ表示ステップと、

を実行させることを特徴とするコンピュータ・プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】削除

【補正の内容】